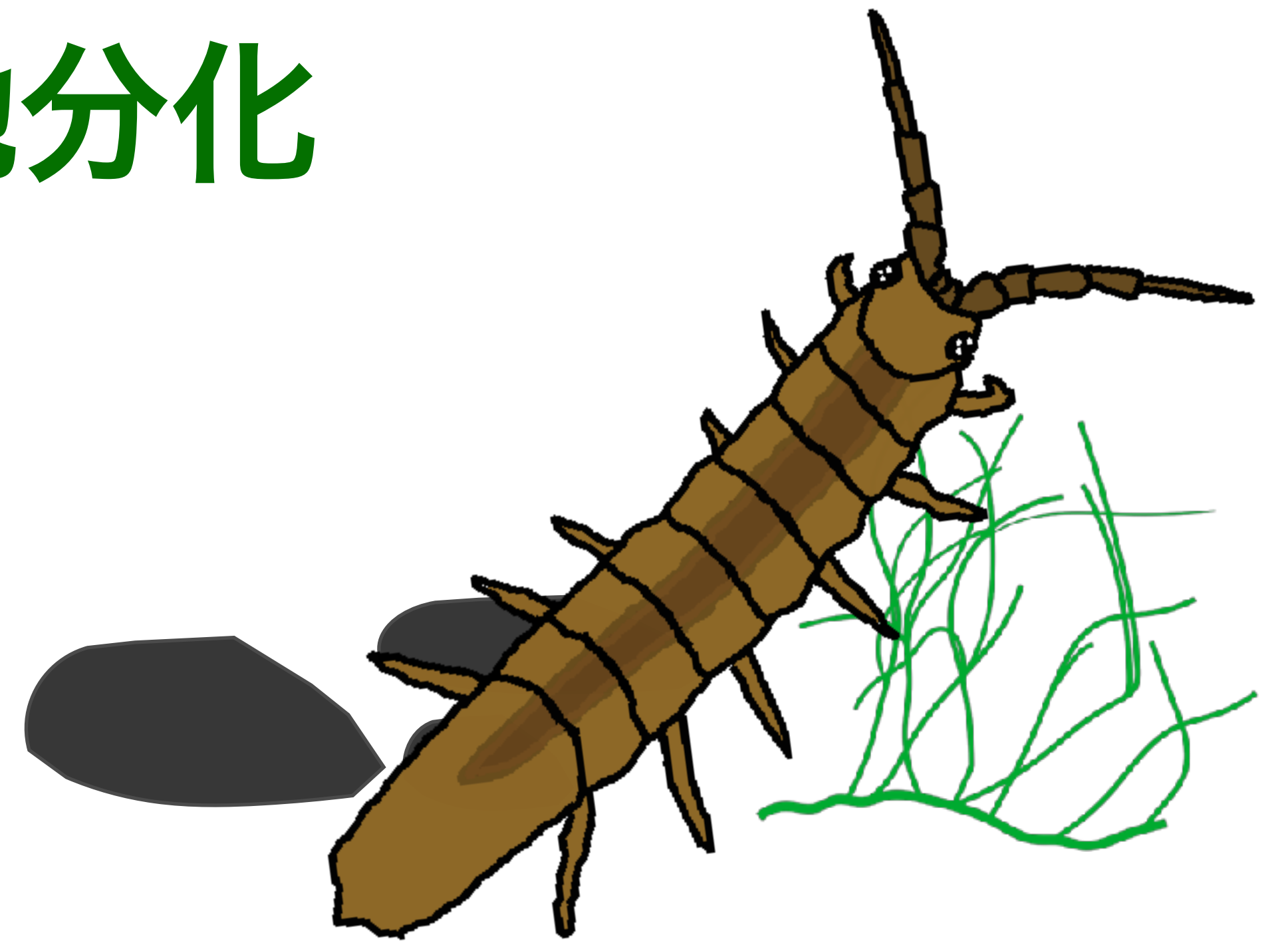


令和7年度厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金

# オホーツクヘラムシにおける 防御行動の可塑性の生息地分化 に関する研究

五十嵐公一（北海道大学大学院水産科学院）



# ヘラムシの不動行動



イソヘラムシは不動行動を示すことで、生存率を高める (Igarashi & Wada unpublished)

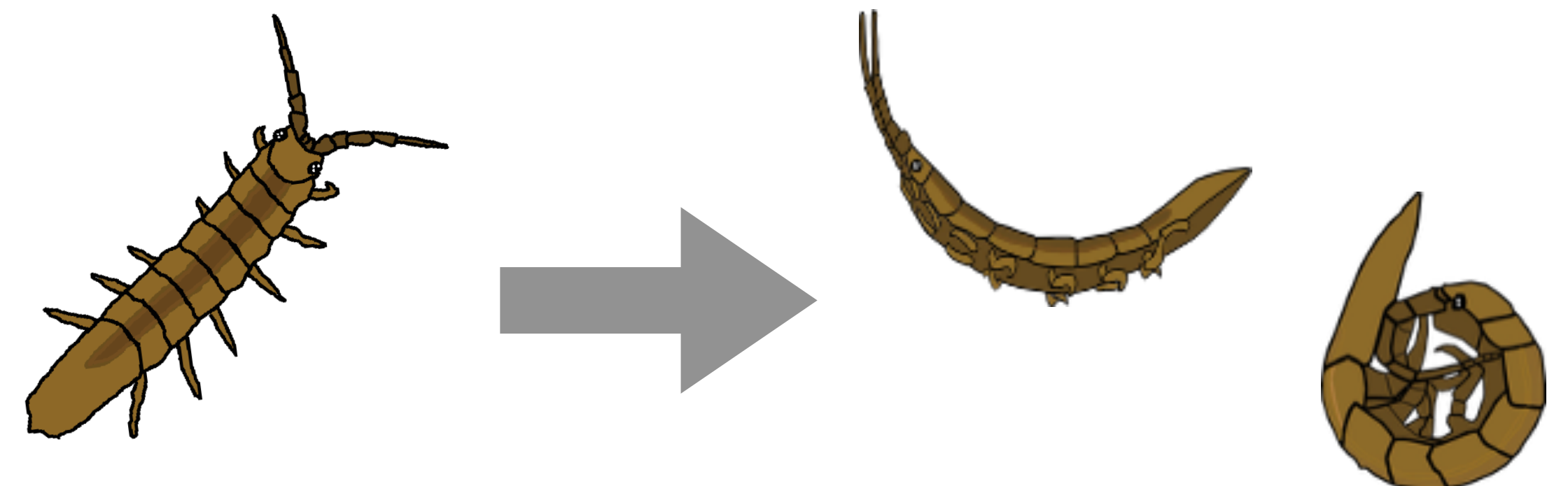
持続時間に種内変異はあるが、魚類に洗練された定型的な行動 (Igarashi & Wada 2024)

# 厚岸湾のオホーツクヘラムシ

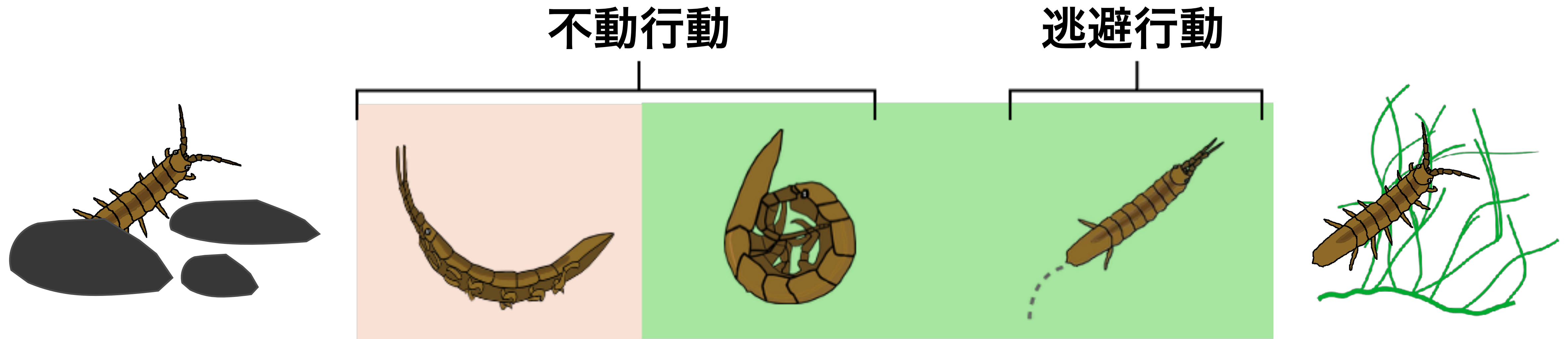


- ・ヘラムシはワラジムシと同じ等脚目に属する
- ・魚類や甲殻類の餌になり，海草や海藻を食べる
- ・オホーツクヘラムシは厚岸湾の磯場やアマモ場では豊富に観察できる

オホーツクヘラムシを指でつつくと、  
えびぞり姿勢で硬直したり，ダンゴムシのように丸まったりする



# オホーツクヘラムシは生息地選好に応じて防御行動も異なる



岩場を好む個体は  
えびぞり姿勢を頻繁に示す

海草帯を好む個体は  
丸まり姿勢と逃避を頻繁に示す

▶ 2つの生息地間で捕食者相や防御行動の有効性が異なるのかもしれない